



事務局ニュース

〈2号〉

2018. 6. 27

梅雨に入ってから涼しかったり暑かったり、体調を崩された人も多かったようです。これからは紫外線も強く、日増しに気温が上がるので注意しましょう。



小さな花壇の真ん中にグンと伸びたひまわりを見つけました。直径40cmの花(左)と、3m近くに達する茎(右)。夏を力強く感じました。

6月9日(土)、日本ガイシフォーラム研修室において、「2018年度(一社)愛知水泳連盟 定時総会」が行われました。

昨年度の事業報告をはじめ、今年度数多くの全国大会の日程などが報告されました。

愛知県ジュニアオリンピック競技大会

6月2日・3日・10日

3日間にわたり、95チーム、2,312名が参加しました。初めて大きな大会に参加する小さなチビっ子もいましたが、堂々と泳ぎ切っていました。この大会は、各年齢別で表彰があり、表彰台上ではいつも以上の笑顔が見られました。また、競技役員も、各パートの確認や背泳ぎのバックstrokeの取り扱いなど念入りに打ち合わせを行い、競技を盛り上げてくれました。

インターハイ(2018 彩る感動 東海総体)強化練習会



6月9日(土)、日本ガイシアリーナ・メインプールをのぞくと、若い選手たちの水しぶきが上がっていました。今年8月にここ日本ガイシアリーナで「第86回日本高等学校選手権水泳競技大会」が行われることが決まり、4/7・5/12・6/9の3回、県内の高校生を集めた強化練習会の最中でした。(一社)愛知水泳連盟の競泳委員が指導の中心となり、男・女各60名が交代に水中トレーニングとドライトレーニングを行っていました。

水泳部のマネージャーたちもお手伝いに来ていて、高校総体に向けての意欲・意気込みが伝わってきました。

ここ数年、インターハイ会場では、公立、私学関係なしに愛知県が集まって応援する光景が見られています。個人・リレー種目、学校対抗ではありますが、「愛知県の選手を応援する」という気持ちが強く、「団結」を感じています。今回の練習会も一つのメニューを県内の高校生が取り組み、互いに刺激を受けていると思います。今年の大会が楽しみです。(付き添ってみえた顧問の方より)

2018 ニチレイチャレンジ特別泳力検定

6. 17 (日)

今年度はソニーオリンピック日本代表(100m背泳ぎ銀メダル・400mメドレーリレー銅メダル)の中村 真衣氏をお迎えし、上記大会が日本ガイシアリーナにて開催されました。(オープニングセレモニーにおいて、元気を貰えるメッセージ後、4種目の模範泳法及びドリル練習を披露していただきました)(写真右) また、大会中にサイン会を3回行いましたが、長蛇の列ができ、300名もの参加者にサインをしていただきました。



検定会は中央大会として9回目を迎え、今回は8歳から84歳まで幅広い年齢層の参加者721名がそれぞれの目標に向け、楽しみながら力泳しました。スタンドからは、熱心に応援する保護者や家族の熱意も伝わってきて大変盛り上がりのある一日となりました。

